

# 生涯活躍のまち構想及び 整備事業（案）の概要

江 別 市

2019年1月25日（金）13:30  
江別市民会館小ホール

# 1 生涯活躍のまちとは

米国で普及した「CCRC（Continuing Care Retirement Community）」が発祥

⇒ 健康時から介護時まで継続的ケアを提供する  
高齢者のコミュニティ



「地方創生」の取組みのひとつとして、

国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に明記

「生涯活躍のまち構想（日本版CCRC）」に深化

⇒ 元気な高齢者が生活するだけでなく、地域住民や子ども、  
若年者などの多世代の交流を重視

# 1 生涯活躍のまちとは

## 生涯活躍のまち構想（日本版CCRC）の概要

⇒ 地方創生の観点から、中高年齢者が希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、地域の多世代の住民と交流しながら、健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができる地域づくりを目指す。

### 移住希望者



移住相談窓口など

- 大都市から地方への移住や、地域内で「まちなか」への住み替え等。
- 移住希望者のニーズを踏まえたきめ細やかなコーディネート。

### 希望に応じた住み替え支援

移住・  
住み替え



空き家の改修、  
サ高住の整備など

### 健康でアクティブな生活の実現



就労・起業支援など



生涯学習、  
リカレント教育など

- 健康づくりや就労・生涯学習など社会的活動への参加等により、健康でアクティブな生活を目指す。
- 中高年齢期の早目の住み替えで地域での活躍を期待。

### 地域の多世代の住民との協働



多世代交流センター、  
地域サロンなど

大学等との連携など

- 入居者間の交流のみならず、地域の若者等多世代と交流ができる環境を実現。大学等との連携も。

### 地域包括ケアシステムとの連携



生活支援・介護予防  
健康管理・健康づくり

- 入居者と地元住民へのサービスが一体的に提供される環境を整備。

### 「継続的なケア」の確保



医療・介護サービス

- 医療介護が必要となった時に、人生の最終段階まで尊厳ある生活が送れる体制を確保。

### 官民連携の取組



- 自治体に加え、移住支援やまちづくりを行う事業者、医療・福祉サービス事業者、地域住民などの参画により、多様な意見が適切に反映されたまちづくりを推進するとともに、持続可能なサービスを提供。

まち・ひと・しごと創生本部HPから抜粋

## 2 江別版「生涯活躍のまち」構想

### 江別版「生涯活躍のまち」構想（平成29年3月策定）

#### 【背景】

- 少子高齢化、人口減少が進む中、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組みのひとつとして検討
- 江別市の人口動態：子育て世代が札幌市から転入している一方50歳以上の世代では札幌市への転出が多い（平成29年3月江別版構想）
- 市民アンケートの結果  
（平成29年3月江別版構想）

- ⇒現在の居住地への満足度が高い
- ⇒学習活動への参加意欲が高い
- ⇒生涯活躍のまちへの期待がある
- ⇒求めるサービスは医療・介護の充実の割合が高い

図表Ⅲ-2-12 人口動態（江別市からの転入-転出、2014年）

|                | 全体    | 道内    |                |      |           | 道外    |       |
|----------------|-------|-------|----------------|------|-----------|-------|-------|
|                |       | 札幌市   | 石狩管内<br>(札幌除く) | 空知管内 | その他<br>道内 |       |       |
| 総数             | ▲ 117 | 75    | ▲ 445          | 75   | 232       | 213   | ▲ 192 |
| 10歳未満          | 256   | 256   | 146            | 23   | 27        | 60    | 0     |
| 10歳代           | 152   | 112   | ▲ 57           | 11   | 17        | 141   | 40    |
| 20歳代           | ▲ 802 | ▲ 564 | ▲ 424          | ▲ 5  | 50        | ▲ 185 | ▲ 238 |
| 30歳代           | 163   | 177   | 74             | 28   | 45        | 30    | ▲ 14  |
| 40歳代           | 89    | 84    | ▲ 3            | 13   | 28        | 46    | 5     |
| 50歳代           | ▲ 2   | ▲ 12  | ▲ 68           | 7    | 20        | 29    | 10    |
| 60歳代           | 30    | 22    | ▲ 40           | 4    | 20        | 38    | 8     |
| 70歳代           | ▲ 1   | ▲ 2   | ▲ 29           | ▲ 1  | 13        | 15    | 1     |
| 80歳代以上         | ▲ 2   | 2     | ▲ 44           | ▲ 5  | 12        | 39    | ▲ 4   |
| 50歳代以上<br>(再掲) | 25    | 10    | ▲ 181          | 5    | 65        | 121   | 15    |

## 2 江別版「生涯活躍のまち」構想

### 江別版「生涯活躍のまち」のコンセプト

- ① 江別市民が住み慣れた地域で、生涯にわたり医療・介護サービスの充実や生活利便性が確保され、安心した生活ができる
- ② 若年層や障がい者など多様な主体との交流による「共生のまち」を実現する
- ③ 地域の特色ある社会資源「4大学（酪農学園大学、北翔大学、札幌学院大学、北海道情報大学）、地元産業、商店街など」を十分に活用する

高等養護学校の誘致活動を行っている大麻地区において

「旧札幌盲学校跡地の一部を中心とした大麻タウン型モデル」を選定



### 3 生涯活躍のまち整備事業 事業予定者

※平成30年8月「江別市生涯活躍のまち整備事業者選定委員会」で選定

#### 【グループ代表法人】

- ◆ 社会福祉法人 日本介護事業団

#### 【グループ構成員】

- ◆ 医療法人社団 光進会 札幌月寒病院
- ◆ 農業生産法人 株式会社つしまファーム
- ◆ 株式会社 つしまマネージメント
- ◆ NPO法人 シニアアクティブ

#### 【協力法人】

社会福祉法人ノテ福祉会・学校法人日本医療大学

代表法人を中心に「つしま医療福祉グループ」を構成する各法人が、それぞれのノウハウや専門分野の実績を生かしながら連携協力して、「江別市生涯活躍のまち」を整備、運営

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （1）整備運営のコンセプト

その1 生涯にわたって安心して生活できるまちづくり

その2 若年層や障がい者など多様な主体との交流による

「共生のまち」を実現し、まちの持続可整性を高めます

その3 地域の特色ある社会資源を活用するまちづくり



目指す  
成 果

\*その1 江別市内からの高齢者の転出を抑制

\*その2 江別版「生涯活躍のまち」構想をつくりあげ、「つしま医療福祉グループ」が目指す「誰もがごくふつうに暮らせるしあわせを創造する」まちを実現

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （2）江別市生涯活躍のまち整備事業のイメージ図

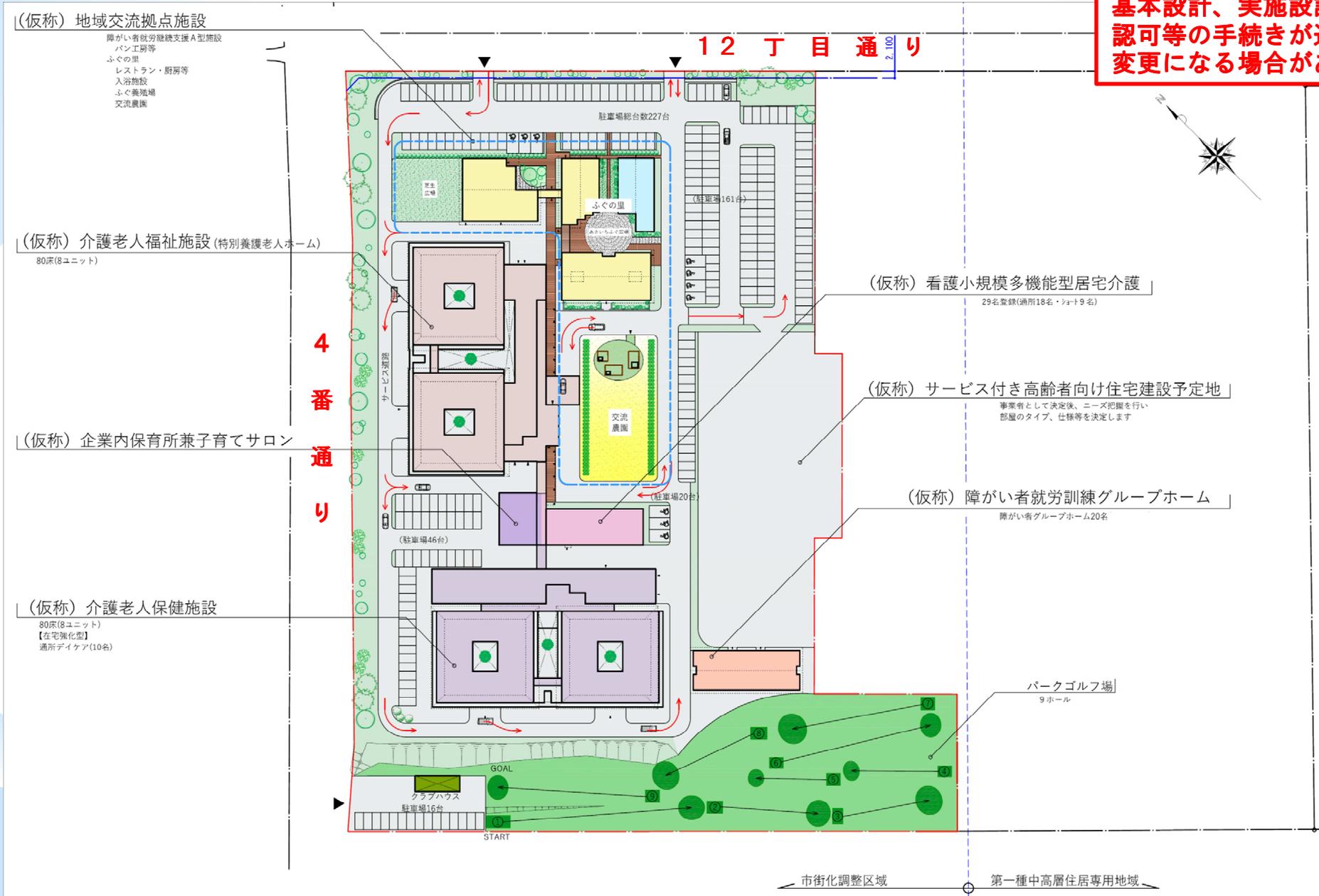
※事業案の段階であるため、具体的な取組内容は更に検討を進めていきます。



# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （3）拠点地域の施設配置予定図

※事業案の段階であるため、基本設計、実施設計、施設認可等の手続きが進む中で変更になる場合があります。



# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （4）拠点地域において整備運営する施設（予定）

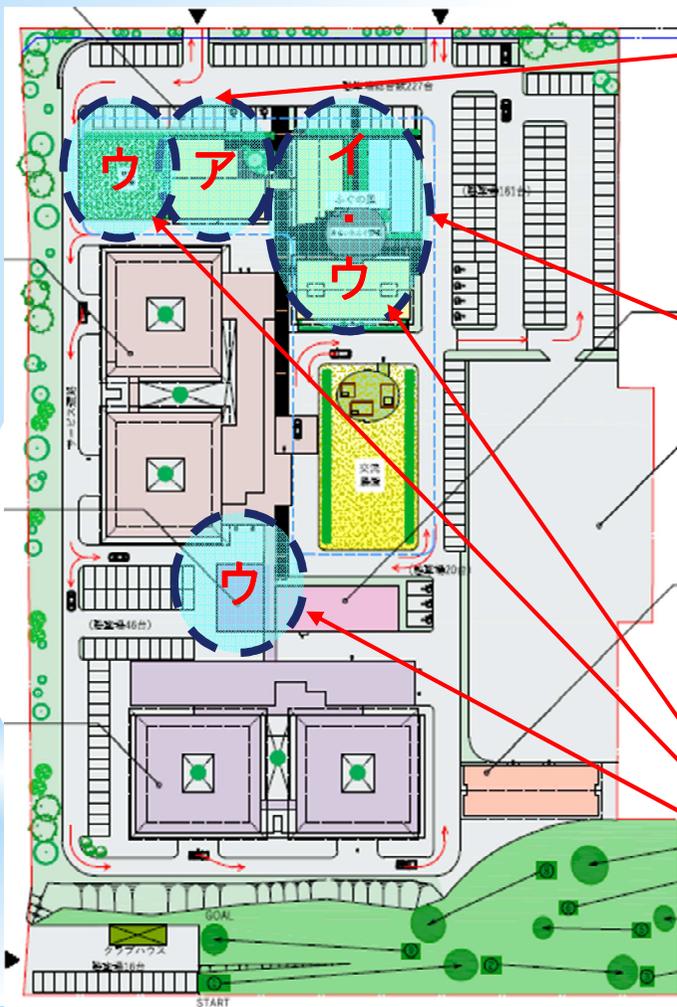
### 整備予定の施設一覧

|   | 施設名称   |
|---|--|
| 1 | 地域交流拠点施設<br>・就労継続支援A型施設：パン工房等<br>・ふぐの里：とらふぐ養殖場・処理場・厨房・レストラン<br>入浴施設、地域交流スペース 等 |
| 2 | 交流農園   |
| 3 | パークゴルフ場（9ホール）  |
| 4 | 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）  |
| 5 | 介護老人保健施設   |
| 6 | 看護小規模多機能型居宅介護事業所   |
| 7 | サービス付き高齢者向け住宅  |
| 8 | 障がい者就労訓練グループホーム  |
| 9 | 保育園（企業主導型保育事業）   |

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （4）拠点地域において整備運営する施設（予定）

### ① 地域交流拠点施設



#### ア) 就労継続支援A型事業所

- ・障がいのある方が住み慣れた地域で働きながら暮らすことができるよう、パン工房（カフェ含）を就労継続支援A型事業所として整備
- ・パンは直接販売するほかグループ内の大学や介護施設でも販売

#### イ) ふぐの里：とらふぐ養殖場・処理場・厨房・レストラン

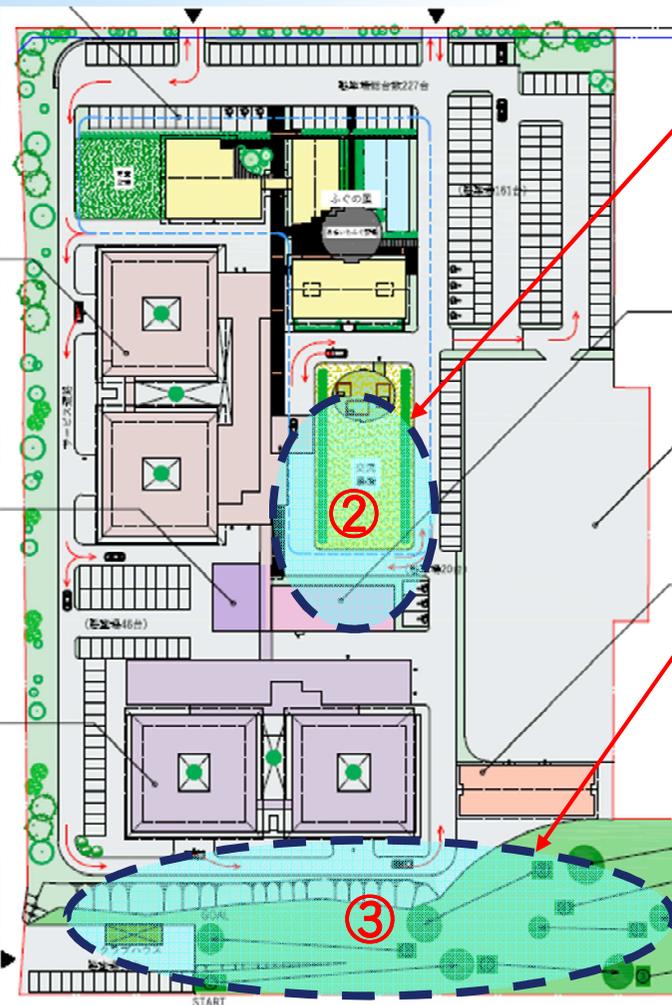
- ・とらふぐ養殖場：温泉を利用してとらふぐの養殖を行い、高齢者や障がい者の働く場を提供
- ・処理場・厨房・レストラン：ふぐ料理を地域住民が利用できるレストラン内で提供、将来的にはふぐ製品に加工して販売
- ・入浴施設：生涯活躍のまちの利用者（高齢者、障がい者など）や地域住民の交流の場として活用（とらふぐ養殖のため掘削する温泉を利用）、利用形態は法令や地域の意見を勘案して決定予定

#### ウ) 地域交流スペース

- ・朝市や各種イベント・お祭り等の開催
- ・施設の空間を利用⇒自治会の会議等として活用
- ・学生ボランティアの協力による地域交流活動
- ・就学前の親子を対象とした「地域のあそびのひろば」など子育て支援利用を検討 など

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （4）拠点地域において整備運営する施設（予定）



### ② 交流農園

- 生涯活躍のまちの入居者や施設入所者、地域住民などの交流の場として整備
- 農福連携の取組みについても検討

（グループ内他施設 参考写真）

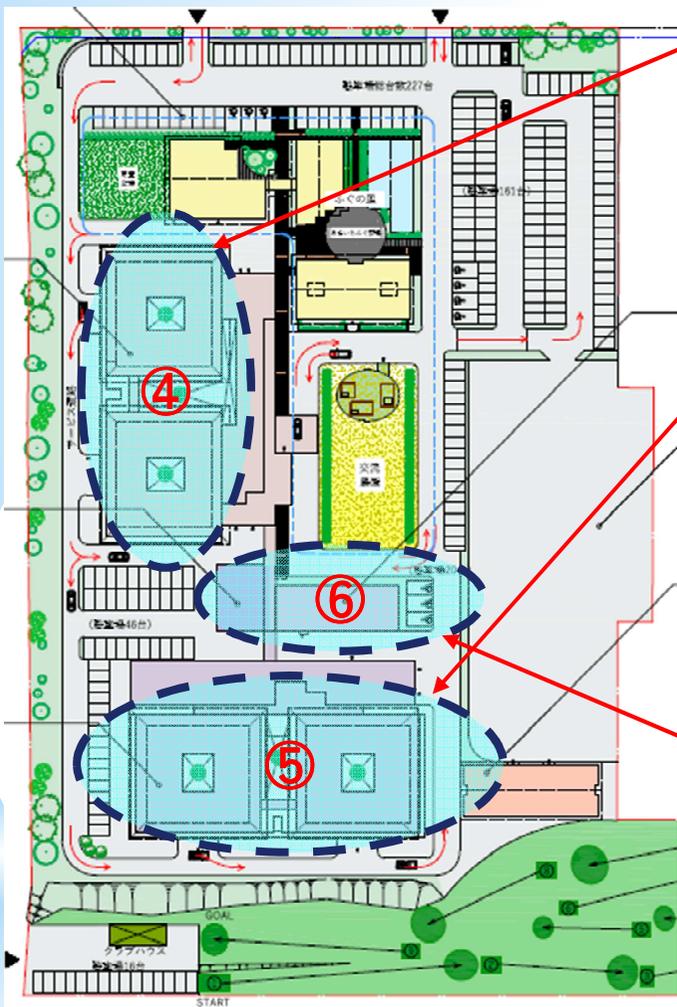


### ③ パークゴルフ場

- 入居者や地域住民などの交流の場として、既存の白樺の植栽やコースを生かしつつ9ホールのコンパクトなコースを整備
- コースは地元のNPO法人に無償で貸出しし、NPO法人による維持管理等、現行の運営継続を基本

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （4）拠点地域において整備運営する施設（予定）



### ④ 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

80床（8ユニット）

- 可能な限り居宅生活への復帰を念頭に、入浴、排泄、食事等の介護、相談および援助その他の日常生活上の支援、機能訓練、健康管理等を実施

### ⑤ 介護老人保健施設

80床（8ユニット）、通所デイケア10名

- 病院退院後の在宅生活に向けてスムーズに生活が送れるよう、必要なりハビリテーションと適切なケアプランを作成し、在宅復帰を目的として、在宅強化型として運営

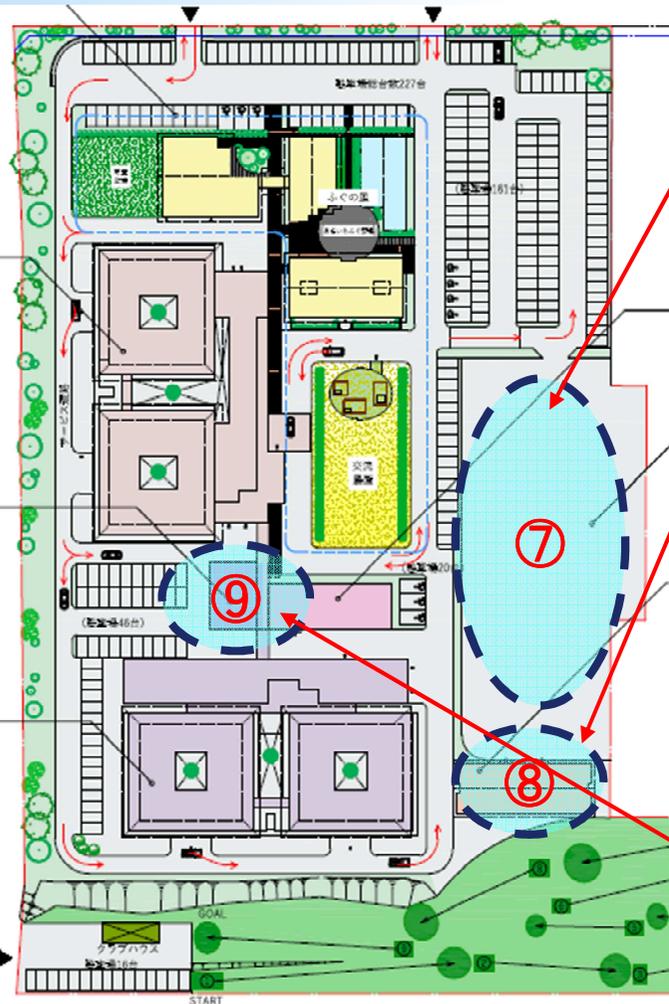
### ⑥ 看護小規模多機能型居宅介護事業所

登録定員29人（通いサービス18名、宿泊サービス9名）

- 退院直後の在宅生活へのスムーズな移行が図られるよう利用者のニーズを把握するためのアセスメント（評価）を実施
- 理学療法、作業療法等による利用者の心身機能の維持回復や、がん末期等の看取り期・病状不安定期における在宅生活の継続のために、ニーズに合わせた「通い」、「訪問」、「宿泊」サービスを柔軟に提供

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （4）拠点地域において整備運営する施設（予定）



### ⑦ サービス付き高齢者向け住宅

- 生涯にわたり江別市から転出することなく安心して住み続けられるよう、サービス付き高齢者向け住宅を整備
- 事業協定を締結後、地域の方や入居希望者のニーズを把握した上で、タイプや仕様、軒数を決定し施設の設計を実施

### ⑧ 障がい者就労訓練グループホーム

定員20人程度

- 市内に住んでいる方で養護学校卒業後に就労できていない方や、地方の障がい施設に入所していて就労を希望する方などを対象に、パン工房（就労継続支援A型事業所）やとらふく養殖等に加え、特別養護老人ホームや介護老人保健施設等の介護職として積極的に受け入れし、その後、二、三年の経験を積んで、地方の介護施設で介護職員が不足している施設で一般就労ができる人材を育成
- 当該グループホームは、そうした方の受け入れに際し、「生活の場」となるよう整備、運営

### ⑨ 保育園（企業主導型保育事業）

定員20人程度

- 職員の就労と子育ての両立を支援するため、拠点地域の施設内で保育園（企業主導型保育事業）を開設
- 同事業の中で地域枠として一部を開放し、地域住民の保育需要にも対応予定

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （5）周辺地域へのひろがりに向けた取組み内容

市・事業者・自治会等各種団体・地域住民・大学・民間事業者等で官民連携

### ① 地区全体の社会資源との連携

#### ア) 自治会等との連携

- ・地元自治会の行事に参加するなど、拠点地域と地域との連携を推進
- ・地域の意向を尊重しながら、地域交流ホームにおける交流事業を実施  
【夏祭り、街区清掃、花のある街並みづくり活動への参加等】

#### イ) 市内大学との連携

- ・市内4大学の得意分野を生かした連携内容（大学生との交流や実習等受入、出前講座の実施等）を検討し、多世代の交流や健康づくり、生涯学習活動等を推進  
【学生】イベント参加、ボランティアやインターンシップ等の受入  
【大学】農業指導、農福連携、スポーツ指導、食や健康に関する市民向け講座等の実施

#### ウ) 商店街との連携

- ・近隣の商店街の空き店舗活用など、元気な高齢者の活躍の場を提供できるよう連携
- ・入居者が商店街で買い物を楽しめるよう、定期的に施設の車両で近隣商店街に外出

#### エ) 誘致活動中の高等養護学校との連携（隣接地への誘致後）

- ・在学生と各種行事やパークゴルフ等で交流するほか、就労実習生として受け入れ
- ・卒業後も住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、グループホームへの入所と就労継続支援施設における訓練や就労の機会を提供

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （5）周辺地域へのひろがりに向けた取組み内容

市・事業者・自治会等各種団体・地域住民・大学・民間事業者等で官民連携

### ② 地域医療機関等との連携

- ・地域包括支援センターや江別市立病院をはじめとする市内医療機関との連携を密にし、ネットワーク構築に取り組み、江別市の地域包括ケアを推進

### ③ 社会参加・健康づくり・生きがいづくり・生活支援

- ・グループ構成員である「NPO法人シニアアクティブ」が中心となり、前述の就労機会や生涯学習、健康づくりの機会を提供

#### 【取組例】

- ・拠点地域や近隣商店街等での就労やボランティア機会の提供
- ・市内大学との連携による市民向け講座等の開催等、健康づくりやスポーツ活動、生涯学習の機会を提供

### ④ 交通手段の確保

- ・サービス付き高齢者向け住宅の入居者や生涯活躍のまちの利用者のために、拠点地域と大麻地区を結ぶ送迎バスの運行を検討

# 4 生涯活躍のまち整備事業（案）の概要

## （5）周辺地域へのひろがりに向けた取組み内容

市・事業者・自治会等各種団体・地域住民・大学・民間事業者等で官民連携

### ⑤ コーディネーターの配置・準備室の設置

- ・「生涯活躍のまち」のサービス全般の管理、調整、プログラム開発など入居者の暮らしや地域交流をコーディネートする人材を配置
- ・生涯活躍のまち整備に向けては、地元で準備室を設置し、整備事業の進捗管理や地元との調整を円滑に進める予定

#### 【コーディネーターの主な役割】

- ・地域課題やニーズの把握等、地域との調整（定期的な機会設置）
- ・イベントやセミナー等の開催企画
- ・コミュニティビジネスや元気な高齢者（アクティブシニア）の生きがい創出等
- ・生涯活躍のまちの入居希望者等の相談対応

### ⑥ 移住・住み替え等の相談対応

- ・生涯活躍のまちのコーディネーターが中心となりながら、市の関係部署と連携して、生涯活躍のまちの入居希望者や地域住民の移住、住み替え等の相談に対応

### ⑦ 生涯活躍まちのPR等

- ・事業者と市が協力しながら、生涯活躍のまちをPRするとともに、継続的に地域の意向を把握する機会を設けながら、取組み内容を検討

# 5 今後の主なスケジュール

## 現段階での予定

| 年     | 月    | 内 容                      |
|-------|------|--------------------------|
| 2019年 | 2月   | 事業協定締結（市と事業予定者）          |
|       | 3月   | 土地売買契約締結（道教委から市へ）、土地引き渡し |
|       | 5月   | 土地利用に係る地区計画決定手続き開始       |
|       | 7月   | 土地売買契約締結（市から事業者へ）、土地引き渡し |
| 2020年 | 2月   | 土地造成工事開始                 |
|       | 4月   | 建築工事開始                   |
| 2021年 | 2月   | 介護施設完成                   |
|       | 3月   | 介護施設入所開始                 |
|       | 4月以降 | その他の施設利用開始               |

